



- 表紙「早春譜(そうしゅんぷ)」 -

大山の残雪と日野川の清流が和し快適な風景です。

第7回 日野川フォトコンテスト入賞作品 一般Aの部 佳作 野坂 正昭さん
撮影場所: 江府町荒田

日野川流域
ものしり手帳

日野川、 もの知りさんに聞いてみよう・18

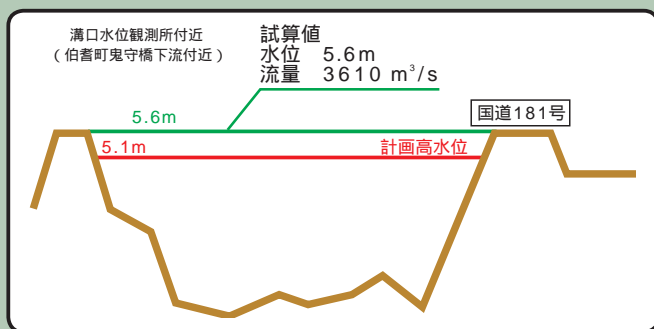
円山川流域の豪雨シミュレーション結果

～平成16年10月の台風23号において、円山川流域(兵庫県北部)で発生した豪雨が日野川で起こったら～

平成16年は、新潟・福島豪雨、福井豪雨に始まり、次々に上陸する台風が10個と史上最高を記録し、大規模水害が全国で多発し、国民の尊い生命や貴重な財産が脅かされました。

とりわけ、台風23号では、隣県の兵庫県北部、豊岡市において、円山川の堤防が決壊し、市街地などの浸水により多大な被害を受けるとともに長期の避難生活を余儀なくされました。台風進路が少しずれていれば、同じ日本海側の地形を呈している鳥取県において、同様の事象が起きていた可能性は十分に考えられるところです。

このため、日野川流域で円山川流域と同程度の雨が降ったと想定(円山川流域 約1,300km²)の観測所雨量を日野川流域(約870km²)にあてはめし、洪水の試算を行いました。



溝口水位観測所付近では、洪水が、堤防いっぱいには流れる結果となり、上下流の堤防が低い所では川の水が民地側に流れ込んだと推定されます。常日頃から風水害への備えが必要であることは申すまでもありません。(なお、この結果は、速報値データを基に試算したものであり、今後の調査により数値が変わることがあります。)



平成10年10月の近年最大の出水(伯耆町溝口)

～災害情報普及支援室を設置しました。～

鳥取県・各市町村への支援体制を強化するため、日野川河川事務所に「災害情報普及支援室」を平成17年1月27日に設置しました。

目的

今次発生した水害にかんがみ、鳥取県・市町村における住民への洪水情報等の提供の充実を図るため、鳥取県・市町村からの求めに応じて、直轄事業で長年培ってきた知見・技術等を積極的に提供することとし、次の支援を行います。

ハザードマップの作成に関する市町村への技術支援を行います。

事務所管理区間に関する時系列氾濫シミュレーション結果を提供します。

災害情報協議会(仮称)を、今後4月を目途に設置する予定です。

その他、災害情報に関する普及・啓発活動等を行います。

災害情報普及支援室

日野川河川事務所の技術の副所長を室長として、調査設計課内の担当職員をスタッフとします。